

都市再生整備計画 事後評価シート
東部地区

平成29年3月

茨城県牛久市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	牛久市		地区名	牛久市東部地区		面積	875ha			
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	261.2百万円		国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	【道路】市道14-2号線、市道55号線、市道58号線、市道2122・1922号線、市道1821号線、市道56号線、市道2244号線、市道59号線、市道2367号線									
			提案事業	【地域創造支援事業】防犯カメラ設置事業(奥野小児童クラブ)、【事業活用調査】事業効果分析									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】市道56号線、市道2122・1992号線、市道2244号線、市道59号線、市道2367号線			市道56号:他事業で整備を行うため削除、市道2122・1992号:市道56号に伴い削除、市道2244号・市道59号:他事業で安全が確保されたため削除、市道2367号:他事業により、本計画が不要となったため削除			【道路】指標「道路改良率」に影響するため、目標値を変更した				
		提案事業	-			-			-				
	新たに追加した事業	基幹事業	-			-			-				
提案事業		-			-			-					
交付期間の変更		当初	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	道路改良率	%	55.4	H23	57.2	H28	モニタリング	56.3	△	あり なし ●	道路整備事業の実施により、道路環境の改善について一定の効果が得られたが、未整備の道路もあり、目標を達成できなかった。	H30年3月
	指標2	保護者安心度	%	58.7	H23	64.5	H28	-	67.6	○	あり なし	小学校の放課後児童クラブにおける防犯カメラ設置事業の実施により、安全・安心に活動できる環境が整備され、保護者安心度について目標を達成できた。	H29年6月
	指標3							-			あり なし		
	指標4							-			あり なし		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	-						モニタリング					
4) 定性的な効果発現状況	なし												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

牛久市東部地区(茨城県牛久市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 市民が安心して生活できる安全な生活基盤と優良な生活環境を確保するためのまちづくりを推進する。 目標1: 道路整備により、生活道路の危険箇所の解消や災害時の避難路の確保等交通アクセス条件の向上を図る。 目標2: 小学校の放課後児童クラブにおいて、より安全・安心に活動できる環境を整備する。	道路改良率	単位: %	55.4	H23	57.2	H28	56.3	H28
	保護者安心度	単位: %	58.7	H23	64.5	H28	67.6	H28

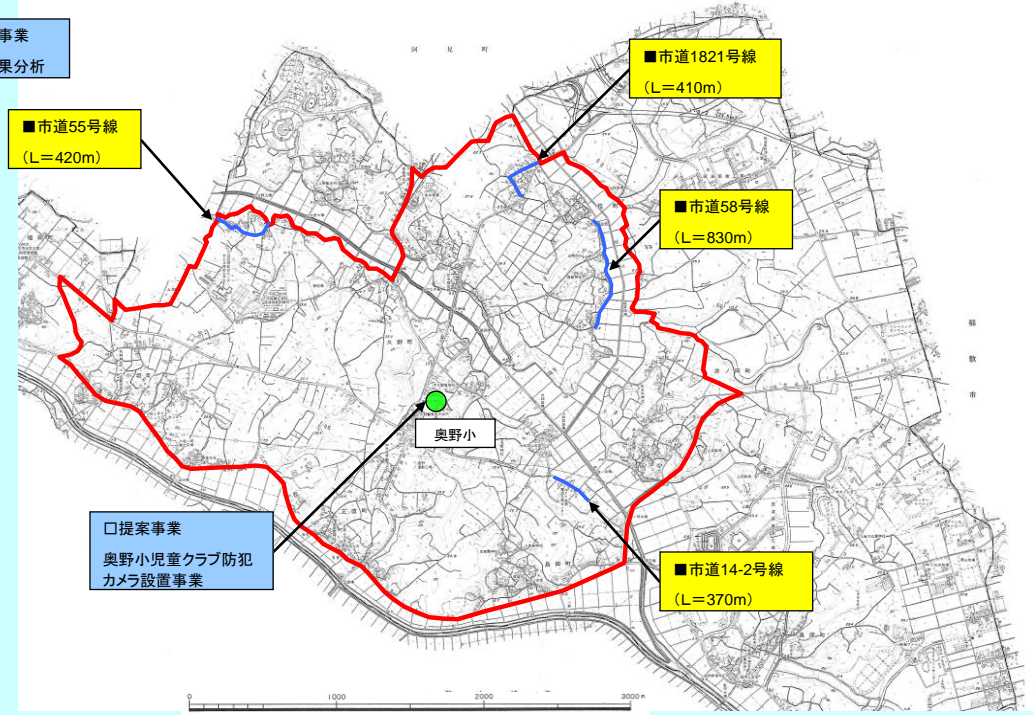


市道58号



市道14-2号
(140/370m整備済)

□提案事業
事業効果分析



奥野小児童クラブ
防犯カメラ

凡例	
	計画区域

凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

□提案事業
奥野小児童クラブ防犯
カメラ設置事業

まちの課題の変化

・市道の多くは幅員が狭く舗装率も低い状況にあり、緊急性の高い地区から計画的に整備を進めていく必要があったが、市道の道路舗装整備等により、道路環境が改善された。
・少子化の流れが加速している中で、核家族化によって子育てに関する不安や悩みを抱えている家庭も多く、地域全体での子育て環境づくりを進める必要があったが、小学校児童クラブ施設への防犯カメラの設置により、利用者の不安解消や安心度向上が図られ、子育て環境づくりが進んだ。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)

・市道の道路環境の改善: 残存している道路環境改善が必要な箇所の早期の整備促進を図るとともに、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを進め、歩行者・自転車に配慮したグリーンロードの整備を推進する。
・子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場の提供: 公共施設や保育園等の地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を実施する。